

マザー・テレサの人間像を知る貴重な時間をどうぞ！

おしゃべりサロン「相互塾」

(第83回) <入場無料>

老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！



ドキュメンタリー映画の現場から ～マザー・テレサとの出会い～

日 時：平成18年12月18日(月) 午後7時～9時
場 所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室(グリーンホール南隣)
語り手：千葉茂樹さん 映画監督、日本映画学校 理事・教育局長

映画の道を歩き続けて50年になる。前半は、シナリオ作家としてドラマの面白さに夢中に取り組んだが、40代を迎えた頃からは、ドキュメンタリーの世界にのめり込んだ。理由はいくつかあげられるが、未知の世界との出会いや生身の人間に触れることで自分が大きく成長できることを知ったからだと思う。その中でも、最大の出会いはマザー・テレサであった。1979年度のノーベル平和賞を受賞される3年前のことで、日本ではほとんど知られていない存在であり、取材の困難さなど予想もしなかったのだ。

最初にマザーに対面した日(1976年9月)のことは、鮮明に覚えている。その彼女から取材許可を貰い、当時のカルカットに現地取材できたのは、2年後の1978年秋である。私が所属する制作会社・近代映画協会は左翼系のスタッフが多く、神の存在とは遠い。その集団と祈りの集団・女子パウロ会が共同して制作に当たった理由は、今でも理解に苦しむという映画専門家がいるが、当然かも知れない。今回はその内実を語りたいと思う。生存中のマザー・テレサの魅力や人間像を正確に伝えることは容易ではない。しかしながら、今になると生前マザーと親しく接することができた人間として、私には彼女の願いを伝える役目を感じている。その機会を与えられたことに、心から感謝している。



参考に、マザー・テレサの短編映画を交えながら、ひとりの映画人としての軌跡を辿りたい。

【終了後懇親会(参加自由、実費2千円前後)を行います】

主 催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会
連絡先：森下 政信 (TEL&FAX 483-9993)

E-mail mmasanob@sepia.ocn.ne.jp

(ウラへ続く)